

## 1 目的

種子島でのサトウキビを中心とした複合経営の状況や、特産物の栽培から6次産業を行っている団体の営農を開始するまでの経緯や、経営方針を学びまた、種子島の青年クラブとの交流を行い、農業に対する考え方や問題点などの情報交換を行い親睦を深める。



## 2 実施状況

### ・種子島農業視察研修

実施日 平成25年11月26日～29日 クラブ員参加者3名  
喜界島と種子島の農業の比較する事が出来た。  
奄美群島とは自然環境が違い、作付出来る時期が限られると感じた。  
また、Iターン者が多く農業に参入しておりその方々の行政、地域による受け入れ体制なども整っていた。



## 3 今後の課題、取り組み

今回の研修で一番に感じたことは、Iターン者が地区内に多数おり、行政・地域の受入体制が整備されている事が大きな違いでは無いと感じた。Iターン者が多いことは、何かしらの知名度があるために島に来島しそこで趣味等をしながら農作業を行って生計を建て、地区での定住に結びついていた。

喜界町農業青年クラブでは、喜界島の事をより知ってもらうために、農業体験ツアーを継続して行い、農業・観光を結びつけ、島外からの新たなIターン者（農業の仲間）、また島内で食育活動を活発に行い、我々よりさらに若い新たな農業者の育成・発掘を図っていく。

